

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1

電話：72-1191 (FAX兼)

E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



入選作品 (敬称略)

■根雨小学校■

- ・ありがとう ころころうれしくなる いいことば
1年 みやざきじゅんせい
- ・見つけよう ともだち みんなの いいところ
2年 小谷 美優
- ・いじわるは 自分がまた わるいたね
3年 多賀 慎之介
- ・人の気持ちをきずつけない やさしい気持ちと やさしい言葉
3年 西村 沙梨
- ・いじめは やめよう 大切な友だち
4年 白根 姫花
- ・うれしいな いじめやさべつ の ないくらし
5年 山田 愛華
- ・命ある 今日一日に ありがとう
6年 坂本有央愛

■黒坂小学校■

- ・わる口・かげ口 言わないよ わたしがされると いやだもの
3年 矢田川あやか
- ・何げない ないしょ話が まわりのだれかを きずつける
3年 高橋みさと
- ・みんな ちがうんだ 人と人をくらべない
4年 長尾 和馬
- ・なくそうよ 心きずつく その言葉
6年 西村 香歩
- ・見てるだけ それじゃあ 何も 始まらない
6年 久留馬夏海

■日野中学校■

- ・考えよう 人の心と 自分の気持ち
1年 桑本 楓
- ・悪口を 言わない 言わせない 無視しない
1年 西村 宗
- ・見て見ぬふり しているあなたも りっぱないじめ
2年 恩田 延彦
- ・悪口を 言ってる自分 好きですか？
2年 小谷 真由
- ・広げよう みんなの笑顔を 人権で
3年 生塩 駿也
- ・気づいてる？自分の行為 相手の気持ち
3年 西村 安奈

■日野高校■

- ・考えて 自分の事より 相手の心
1年 木山 舞花
- ・断ち切ろう 差別という名の 負の感情
1年 田代 教泰
- ・差別なく 暮らせる町を めざそうよ
1年 藤原 夏美
- ・差別心 一人がなくなれば 皆変わる
2年 中口 凌
- ・心はガラス 君の言葉で すぐわれる
2年 小杉 綾香
- ・思いやり 心の鍵を 開けてゆく
3年 山川 朗紀

■一般■

- ・テレビのスイッチ「OFF」にして 心と心の会話「ON」にしよう！
其山 守美

部落解放人権尊重標語入選作品決定

部落解放月間に合わせ、児童・生徒および町民の皆さんへ募集した「部落解放人権尊重標語」の選考会を、7月2日、下榎集会所で行いました。選考委員により厳選した選考の結果、左の25点が入選作品に決まりました。

※入選者には、賞状と記念品が贈られました。

入選作品は、人権標語短冊の配布やごみ収集カレンダーに掲載するなど、啓発活動に活用します。

たくさんのご応募、ありがとうございました。

老人会と小学生の交流活動

6月8日の小学生学習会で、

老人会の皆さんと一緒にサマソマイモの苗を植えました。畝にマルチを張ることから始め、1人2本、3本の苗を丁寧に植えました。秋の収穫が楽しみです！

第一回ぼかばか教室開催

6月14日、下榎集会所で

「ぼかばか教室」が開かれました。

今回は、役場健康福祉課職員の指導により、18人の参加者が血圧測定や体脂肪計測、健康相談や栄養指導を受けました。

また、健康についての質問や、普段なかなか聞けないことなどを気軽に相談していただきました。

8月の学習講座予定

■生け花 (草月流)

8月17日(火) 午後7時30分～

講師 生田清子さん

会場 下榎集会所

材料代 花代が必要です。日程など変更になることがあります。詳しくは隣保館まで。

【お知らせ】「人権尊重社会を実現する鳥取県研究会」が、8月5日・6日に米子ビッグシップなどで開かれます。「ポルフィリン症と診断されて」と題した池谷鉄平さんの講演などがあります。詳しくは教育委員会または下榎隣保館まで。

人権のまち ひと

2010年7月

支え合う

地域づくり目指して

▼町民人権講座

6月23日、日野ボランティアネットワークの山下弘彦さんを講師に、『災害にも強いまちづくり』と題して第2回町民人権講座を開きました。

山下さんは、自分が体験してきた災害ボランティア活動をもとに、「災害を想定した安心・安全な暮らしは、日々の情報共有や見守り活動が基本」と話しました。

参加者からは、「10年前のことがよみがえり恐怖を覚え、その後の取り組みや備えといってもほとんど何もしていない。独り暮らしの高齢者が増え、過疎化に伴って地域を支える力は衰える一方だ。もう一度足元から自分たちの暮らしを点検しなくては」との感想もありました。

私たちの幸福感を『地域で共に暮らす』という基本に置



山下弘彦さん

けば、良好な地域の人間関係を継続することの大切さが見えてきます。

しかし、高齢・過疎化によつて暮らし方もさまざま、地域での生活やコミュニケーション活動も難しくなり、生活は一段と寂しく不安になっていきます。

山下さんは、「支援が必要なのは高齢や障がいに限らず、若くても元気で誰かが支援対象になりうる地域社会の状況がある」と話し、「してあげ、してもらおう」関係から、

「お互い様」のボランティアで、「見守られている実感」と「暮らしの安心感」が得られるような「誰もが支え、支え合つて暮らす」地域づくりが大切と投げかけました。

人権学習推進者養成講座に参加しませんか

町では、誰もが安心して安全に暮らせる『まちや地域』を目指して、小地域座談会等で人権啓発・学習を進めています。今後は、この学習が行動に結びついていくことが課題です。このため、人権学習の推進者が参加型学習の特徴を理解し、プログラム作成や小地域座談会など、学習会の進行に必要な基礎的知識や技術を身につけるための養成講座を開きます。

日程

※A・Bいずれかに参加ください(時間は午前10時～午後5時)

【A日程】 1日目：8月17日(火)

2日目：8月24日(火)、26日(木)のいずれか

【B日程】 1日目：8月19日(木)

2日目：8月24日(火)、26日(木)のいずれか

会場 山村開発センター(大集会室)

申込み 7月30日(金)までに、申込書を人権センターへ提出。

受講料は無料です。昼食希望者には弁当(500円)をあつせんします

連絡先 人権センター 川上・中原(電話72・2107)

人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 参加者募集

8月5日(木)・6日(金)、米子コンベンションセンター／ビッグシップほかを会場に、第35回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会が開かれます。

町では参加者を募集しています。詳しくは、教育委員会事務局内 町人権センター(電話72-2107)までお問合せください。

第3回町民人権講座

『人権尊重のまちづくりをしよう』をテーマに町民人権講座を開きます。

今回は、「部落差別の完全解消と、あらゆる差別や人権侵害の無い社会」を目指して、差別がいつごろから、どうして起こったのか、その時代の社会の状況や差別された人々の暮らし、現在に至る歴史などについて学びます。

日時 7月28日(水)

午後5時30分～午後6時30分

場所 山村開発センター

演題 「部落差別の歴史と同和問題の社会的背景(仮題)」

日時 足羽 隆さん

(前鳥取県人権教育アドバイザー)